

平成 26 年 2 月 23 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時

献児式・教会総会

司 会 : 片岡洋一兄
奏 楽 : 倉知 契牧師
おいのり : 持田樹理姉
さんび : 新聖歌 156 「われは主にありて楽し」1. 2. 4 節
ヤベツの祈り
聖 書 : 創世記 6 章 5 ~ 9 節 (P.7)
(朗読: 平松友子姉)
音 楽 : 小坂忠師 (勝利者 ~DVD)
お 証 し : 片岡立子
メッセージ : 「まっさきにほほえみをもって」 倉知 契牧師
さんび と 献金 : ♪ 聖歌 656 「感謝します」
頌 栄 : ♪ ハレルヤ (B♭)
祝 禱
報 告

【瀬戸ニュース】

- ◇ 教会に皆様を心から歓迎します。礼拝後昼食あり。
- ◇ 昼食後、今日は教会総会です。教会員はご出席願います。
- ◇ 3/30(日)持ち寄り音楽PartⅢの出演者・募集中です！
- ◇ 教会のホームページが随時リニューアル中。感謝。
- ◇ 今週も祈禱会を大切に！
木曜10時半 / 土曜掃除10時半・祈禱会11時15分
- ◇ 祝大 Aコース:マルコ1章~4章
Bコース:レビ記22章~民数記7章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年3月2日]

[司会: 片岡洋一兄、いのり: 加藤由美子姉、聖書朗読: 平松友子姉]

[ピアノ&リード: 米田 香姉、アシスト: 大神 雄兄、大神美乃姉]

[献金: 大神久美姉、受付: 下岡晶子姉]

◇PA: 平松章治兄

◇週報編集: 片岡洋一兄

◇ホームページ編集: 大神真伸兄 ◇日曜学校: 大神 雄 兄



「人生のもつともいやな、もつとも苦しい、もつとも損な場面を、まっさきにほほえみをもって担当せよ。」

小原国芳 (玉川学園創始者)

月曜夜11時、スーパー・プレゼンテーション(Eテレ)は毎週欠かさず見えています。TED(テッド)というアメリカのプレゼン番組です。今回のゲストは開発援助コンサルタントのアルネスト・シローリ氏。地域社会の活性化を促す専門家として世界中で活躍。そんな彼が何度も語っていたのは、「地域の人々の声を聞くこと」「そこに居る人たちの意見に耳を傾けてこそ企業は援助ができる」という話でした。イタリア出身の彼は若いとき開発援助のためにアフリカに入ったそうです。イタリア人は「未開発の地に農業を教える！」と意気込んでいましたが、地域の人は農業はしたくないと言う。いや農業が村を救うと、どでかいトマトを作ったそうですが次の日に200頭のカバが全部それを食べてしまったそうです。「どうして先に言ってくれなかったの？」と言うと、アフリカ人は「聞かれてないし…」と。つまり、援助される側の心や生活を知らないで、どう援助するのですか、欧米諸国は何億ドルものお金を無駄に使っていると指摘。彼は、自分からは何もしない、ただ待つのだそうです。「準備をしたら援助にならない」という言葉には教えられました。このプレゼンに対する司会・伊藤穰一氏の解説が鋭くて、「デザイン」に興味のある方は「NHKスーパープレゼンテーション」WEBで検索してください。

私が度々紹介しているカトリックのクリスチャンの佐藤初女さん(92)がこう言っています。今の社会は受け入れてくれる人、聞いてくれる人がいません。話したい人や受けてもらいたい人は沢山いるけれど。受け入れてくれる人に会わないというのでみんな悩んでいます。私の場合は無条件で、自分の考えを持たないでお逢いする。それだけだと思いますよ。

「自分の考えを持たないでお逢いする…」とは凄い。教会こそ「教える会」でなく「聞こう会」になるべきなのでしょう。今日は年に一度の教会総会。地域社会に心と耳を開いた教会を、祈りをもって建て上げてゆきましょう。総会に出席できない教会員は、委任の旨を牧師か役員まで。では最後に一句(一苦。)

【総会や 主の御心に 沿うかいな 気分爽快 君もそうかい…】

瀬戸カルバリーチャペル

倉知 契